

報 告 事 項
令 和 4 年 8 月 2 4 日
教 育 政 策 課

令和3年度決算について

令和3年度教育委員会の所管に係る教育費の決算について、別紙のとおり報告いたします。

款	項	目	予算額	決算額	翌年度繰越額	不用額	執行率 (%)	主な事業等
教育費 (大学費及びスポーツ振興職所管分を除く)	教育総務費		7,665,605,920	6,753,280,636	360,148,900	552,176,384	88.10	
		教育委員会費	21,038,000	19,644,012	0	1,393,988	93.37	教育長及び教育委員の人件費等
		事務局費	1,073,676,000	988,935,491	0	84,740,509	92.11	教育政策課・学校教育課・教育研修課・学校支援課等の人件費、 適正規程・通正配属事業、教育センター管理運営業務、私学振興、教職員技術 指導研修、外国語指導助手、生徒指導推進業務、学力向上推進事業、コミュ ニティ・スクール推進事業、「きらめきネットコム」のリニューアル
		小学校費	1,582,156,000	1,274,588,689	166,803,000	140,764,311	80.56	
	中学校費	学校管理費	942,408,000	921,646,756	0	20,761,244	97.80	小学校に勤務する職員の人件費及び管理運営費
		教育振興費	308,732,000	274,740,585	0	33,991,415	88.99	特別活動推進業務、教材整備推進業務、就学援助、 特別支援学級設備整備業務、遠距離通学費補助業務、 コンピュータ整備事業等
		学校建設費	331,016,000	78,201,348	166,803,000	86,011,652	23.62	小学校施設改修事業、空調整備事業、長寿化事業
			1,069,746,000	732,976,158	193,345,900	143,423,942	68.52	
	高等学校費	学校管理費	438,785,407	431,405,452	0	7,379,955	98.32	中学校に勤務する職員の人件費及び管理運営費
		教育振興費	259,068,593	212,670,072	0	46,398,521	82.09	特別活動推進業務、教材整備推進業務、就学援助、 特別支援学級設備整備業務、遠距離通学費補助業務、 コンピュータ整備事業等
		学校建設費	371,892,000	88,900,634	193,345,900	89,645,466	23.90	中学校の施設整備、長寿化事業、空調整備事業、屋内運動場整備事業
			516,421,926	492,164,346	0	24,257,580	95.30	
		高等学校総務費	447,006,000	435,219,618	0	11,786,382	97.36	下関商業高等学校に勤務する教職員の人件費等
		高等学校管理費	29,492,000	25,674,308	0	3,817,692	87.06	下関商業高等学校の管理運営、施設整備
			39,923,926	31,270,420	0	8,653,506	78.33	1人1台端末設定委託及び端末更新業務委託
		教育振興費						

(単位：円)

款	項	目	予算額	決算額	翌年度繰越額	不用額	執行率 (%)	主な事業等
社会教育費		社会教育総務費	2,071,653,994	2,013,673,203	0	57,980,791	97.20	生涯学習課・文化財保護課・中央図書館・美術館・歴史博物館等の人件費 生涯学習推進業務 下関市生涯学習まちづくり出前講座・関門海峡・温故知新塾・市民文化セミ ナール 公民館学級 社会教育団体育成
			666,591,000	653,543,733	0	13,047,267	98.04	
		青少年対策費	46,822,994	42,874,111	0	3,948,883	91.57	青少年健全育成業務 成人の日記念事業、少年指導者研修、青少年団体育成等 学校・家庭・地域の連携協力推進事業 学校支援地域本部、放課後子供教室 青年の家の管理運営
		文化財保護費	105,914,506	88,744,864	0	17,169,642	83.79	旧下関英国領事館管理運営事業 史跡前田砲台跡保存整備事業 理藤文化財分布調査及び発掘調査業務 文化財愛護普及業務
		公民館費	198,508,890	196,957,250	0	1,551,640	99.22	公民館の管理運営
		図書館費	330,677,000	325,748,794	0	4,928,206	98.51	中央館(1館)地域館(5館1室)の運営管理 リクエント交付、各種行事開催等による図書館利用の普及促進 調べ学習、読み聞かせ等のための小・中学校貸出図書整備・充実
		博物館費	266,933,494	258,333,121	0	8,000,373	97.00	歴史博物館の管理運営 軍行記念館の管理運営 考古博物館の管理運営 高山民俗資料館の管理運営 人類学ミュージアムの管理運営 豊北歴史民俗資料館の管理運営 豊田ホテルのミュージアムの管理運営
		美術館費	103,657,000	99,002,165	0	4,654,835	95.51	美術館の管理運営 展覧会開催
		生涯学習施設費	352,549,110	347,869,165	0	4,679,945	98.67	ふれあいセンター(豊浦・宇賀・小野)・学習会館(芝・串)の管理運営 豊田及び豊北生涯学習センターの管理運営 菊川ふれあい会館の管理運営 生涯学習プラザの管理運営
		保健体育費	1,330,914,000	1,231,298,737	0	99,615,263	92.52	
		保健体育総務費	644,315,000	572,933,210	0	71,381,790	88.92	学校保健給食課・学校給食調理員の人件費 学校保健管理業務、学校給食管理業務等 給食施設・設備の管理運営、就学援助(給食費、医療費) 民間委託(豊浦町の単独調理校)
		体育振興費	7,474,000	6,456,695	0	1,017,305	86.39	学校体育振興育成業務 小学校体育連盟、中学校体育連盟
		学校給食共同調理場費	679,125,000	651,908,832	0	27,216,168	95.99	南部・中部・豊田町・豊浦町・黒井・滝部学校給食共同調理場の管理運営経費 民間委託(南部・中部・豊田・黒井・滝部学校給食共同調理場)

令和 3 年度決算

教育委員会の主要な施策の成果について

No.		事業名	所管課	予算区分
1	新型コロナウイルス感染症対応施策	教育版新地域ポータルサイト構築事業	学校教育課	6月
2		I C T活用サポート業務	教育研修課、 下関商業高等学校	6月
3		長府東公民館講堂空調設備改修工事	生涯学習課	6月
4		新型コロナウイルス感染症拡大防止事業（公民館等）	生涯学習課	5月
5		移動図書館車整備事業	中央図書館	5月
6		考古博物館サテライト施設 コロナ対策環境整備事業	文化財保護課	6月
7	一般施策	名陵中学校区新しい学校づくり	教育政策課、学校支援課、 学校保健給食課	当初
8		特別支援教育支援員配置事業	学校教育課	当初
9		教育支援教室拡充	学校教育課	6月
10		小・中学校体育館照明 L E D 化事業	学校支援課	当初
11		学校トイレ快適化事業	学校支援課	6月
12		学校施設長寿命化事業（予防保全）	学校支援課	6月
13		小・中学校メンテナンス推進事業（長寿命化）	学校支援課	当初
14		菊川中学校体育館建替事業	学校支援課	当初
15		太翔館リニューアル開館 10 周年記念事業	文化財保護課	6月
16		豊田生涯学習センター耐震補強・外壁改修工事	生涯学習課	当初

事業名	教育版新地域ポータルサイト構築事業				
予算区分	一般会計 教育費 教育総務費 事務局費				
総合計画の体系	第8章 第3節 行政機能の充実				
担当課名	学校教育課	開始年度	令和3年度	決算書	169頁～170頁

1 事業の概要・取組

概 要	学校教育の分野からスマートシティのまちづくりに取り組むもの。家庭と学校、児童・生徒等が各々のニーズに合ったデジタルコミュニケーションができる、利便性の高い新ポータルサイトを構築する。
令和3年度の主な取組	ポータルサイト「しもまちプラス」内に、教育コミュニケーションサービス「きらめきネットコム」を構築した。

2 事業の目標指標(活動指標)及び評価

指標説明	登録保護者数				
指標の数値	R1	R2	R3	R4	最終(R6年度)
目標値(人)				10,000	15,000
実績値(人)					
達成率(%)					
評価(A～D)					

※評価基準(数値は達成率)

A(110%以上)目標を上回る

B(90%以上110%未満)ほぼ目標どおり

C(70%以上90%未満)目標を下回る

D(70%未満)目標を大幅に下回る

3 令和3年度の事業成果・今後の事業展開

令和3年度の成果	ポータルサイト「しもまちプラス」内に、リニューアルした「きらめきネットコム」を開設した。以前のサイトに比べて、スマートフォンでの閲覧がしやすくなり、LINEでの通知が可能となった。
今後の展開	リニューアルした「きらめきネットコム」を令和4年度に正式リリースし、学校と家庭間のコミュニケーションをサポートするシステムとして運用を進める。

4 参考情報

■「きらめきネットコム」の主な機能■

- ①「個別学校Top」 ②「行事カレンダー」 ③「給食献立」 ④「欠席連絡」
⑤「プッシュ通知(連絡)」 ⑥「アンケート」

5 決算情報

(単位:円)

年 度		R2	R3			
			予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額
事 業 費			6,000,000	5,977,400		22,600
主 要 な 経 費	委託料		6,000,000	5,977,400		22,600
財 源	国庫・県支出金		6,000,000	5,977,000		
	市債					
	その他特定財源					
	一般財源			400		

事業名	ICT活用サポート業務				
予算区分	一般会計 教育費 教育総務費 事務局費 / 高等学校費 教育振興費				
総合計画の体系	第3章 第2節 一人ひとりの生き抜く力の育成				
担当課名	教育研修課 / 下関商業高等学校	開始年度	令和3年度	決算書	169頁～170頁 173頁～174頁

1 事業の概要・取組

概要	小・中学校のICTを活用した学校教育活動を支援するため、専門的な知識を有する技術員を学校へ派遣するとともに、ICTヘルプデスクを設置し、学校の課題に迅速に対応する。また、小・中・高等学校で使用するタブレット端末の年度更新作業のサポートを求めるもの。
令和3年度の主な取組	必要に応じて学校を訪問し、操作支援や機器不具合対応等を実施した。また、ICTヘルプデスクを設置し、学校の課題に迅速に対応することで、サポート体制の確立を図った。年度末には児童・生徒及び教員用端末の初期化や更新作業を行った。

2 事業の目標指標(活動指標)及び評価

指標説明	ICT機器の運用上の課題に関する1日の問い合わせ件数				
指標の数値	R1	R2	R3	R4	最終(R6年度)
目標値(件)			20	15	5
実績値(件)			8		
達成率(%)			250.0%		
評価(A～D)			A		

※評価基準(数値は達成率)

A(110%以上)目標を上回る

B(90%以上110%未満)ほぼ目標どおり

C(70%以上90%未満)目標を下回る

D(70%未満)目標を大幅に下回る

3 令和3年度の事業成果・今後の事業展開

令和3年度の成果	ICTヘルプデスクの設置や技術員派遣により、ICTを活用した学校教育活動の支援を行うとともに、端末更新作業により、小・中・高等学校のICT環境を最適な状態に保った。
今後の展開	継続したサポート体制を構築することで、小・中・高等学校のICT活用を推進するとともに、児童・生徒の情報活用能力の育成を図っていく。

4 参考情報

・タブレット端末の更新作業台数

小学校2,040台、中学校1,992台、高等学校170台 計4,202台(教員分を含む)

5 決算情報

(単位:円)

年 度		R2	R3			
			予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額
事 業 費			10,900,000	10,604,000		296,000
主 要 な 経 費	委託料		10,900,000	10,604,000		296,000
財 源	国庫・県支出金		10,900,000	10,604,000		
	市債					
	その他特定財源					
	一般財源					

事業名	長府東公民館講堂空調設備改修工事				
予算区分	一般会計 教育費 社会教育費 公民館費				
総合計画の体系	第3章 第5節 生涯を通じた学ぶ機会の提供				
担当課名	生涯学習課	開始年度	令和3年度	決算書	175頁～176頁

1 事業の概要・取組

概要	利用率の高い長府東公民館における、新型コロナウイルス感染拡大防止の対策として、収容人数が多い講堂において、耐用年数を大幅に超えて使用し能力が低下している換気設備を空調設備と一体的に更新し、換気能力の向上を図るもの。
令和3年度の主な取組	長府東公民館の講堂の換気設備、空調設備の更新を行った。

2 令和3年度の事業成果・今後の事業展開

令和3年度の成果	長府東公民館の講堂において、窓を開けなくても十分な換気をしながら空調設備を稼働することが出来るよう換気設備と空調設備を更新した。
今後の展開	今回更新した設備を最大限利用し、新型コロナウイルス感染拡大防止を図りながら講堂の利用率向上へ努める。

3 施設の概要、計画等

○現施設の概要

名称 下関市立長府東公民館
 建設年 平成9年
 施設規模 延床面積 2,104.44㎡
 構造 鉄筋コンクリート造 地上3階建

○計画等

更新設備 講堂換気空調設備一式



4 決算情報

(単位:円)

年度		R2	R3			
			予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額
事業費			40,000,000	32,414,800		7,585,200
主要な経費	工事請負費		40,000,000	32,414,800		7,585,200
財源	国庫・県支出金		7,742,000	32,414,000		
	市債					
	その他特定財源					
	一般財源		32,258,000	800		

事業名	新型コロナウイルス感染症拡大防止事業（公民館等）				
予算区分	一般会計 教育費 社会教育費 公民館費／生涯学習施設費				
総合計画の体系	第3章 第5節 生涯を通じた学ぶ機会の提供				
担当課名	生涯学習課	開始年度	令和3年度	決算書	175頁～178頁

1 事業の概要・取組

概要	公民館等の社会教育施設における新型コロナ感染リスクの低減を図るため施設の改善を行うもの。
令和3年度の主な取組	①公民館におけるトイレの洋式化 ②菊川ふれあい会館における空調設備の更新

2 令和3年度の事業成果・今後の事業展開

令和3年度の成果	①18基の和式トイレを感染リスクが低減される蓋付き洋式トイレへ更新した。 ②経年劣化で換気能力の低下した空調設備を更新した。
今後の展開	①引き続き、公民館の各階に男女が使える洋式トイレが1基は設置されているように整備していく。 ②貸出を中止していた2室の貸出を再開し、利用率向上へ努める。

3 施設の概要、計画等

① 公民館におけるトイレの洋式化	トイレの水洗時の飛沫拡散による感染リスクを低減するため、市内9公民館18基（北部1基、西部3基、吉見3基、内日2基、清末1基、王喜2基、吉田2基、檜崎2基、角島2基）の和式トイレを蓋付き洋式トイレへ更新した。
② 菊川ふれあい会館における空調設備の更新	菊川ふれあい会館のミュージックルーム及び展示室は窓がなく、空調設備の経年劣化による換気能力の低下で貸出を中止していたが、当該空調設備を更新し、貸出を再開した。

4 決算情報

（単位：円）

年度		R2	R3			
			予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額
事業費			14,500,000	14,256,000		244,000
主要な経費	委託料		14,500,000	14,256,000		244,000
財源	国庫・県支出金		14,500,000	13,893,000		
	市債					
	その他特定財源					
	一般財源			363,000		

事業名	移動図書館車整備事業				
予算区分	一般会計 教育費 社会教育費 図書館費				
総合計画の体系	第3章 第5節 生涯を通じた学ぶ機会の提供				
担当課名	中央図書館	開始年度	令和3年度	決算書	175頁～178頁

1 事業の概要・取組

概要	新型コロナウイルス感染症の拡大を防止しながら、図書館への来館が困難な方へのサービス向上と、在宅での読書環境の充実を図るため、移動図書館車を更新する。
令和3年度の主な取組	新型コロナウイルス感染症対策として、更新する移動図書館車を既存のものより内部を広くし、ブックトラックや車椅子の昇降用に電動リフトを装備した。

2 令和3年度の事業成果・今後の事業展開

令和3年度の成果	令和4年3月29日から、更新した移動図書館車の運行を開始した。
今後の展開	通常の26ステーションの巡回以外に、他課とのイベントの共同実施や派遣依頼により、移動図書館車を運行する。

3 施設の概要、計画等

【移動図書館事業の概要】

昭和34年(1959年)10月 「みちづれ号」巡回開始
 昭和44年(1969年)12月 「ともしび号」
 昭和60年(1985年)10月 「新・ともしび号」
 平成13年(2001年)10月 「ブックル号」

■新・ブックル号



【令和3年度実績】

26のステーションを巡回
 登録者数: 3,276人、22団体
 所蔵総数: 19,764冊
 延利用数: 12,531人
 貸出冊数: 74,679冊

4 決算情報

(単位:円)

年度		R2	R3			
			予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額
事業費			23,000,000	21,161,250		1,838,750
主要な経費	備品購入費		23,000,000	21,161,250		1,838,750
財源	国庫・県支出金		23,000,000	21,161,000		
	市債					
	その他特定財源					
	一般財源			250		

事業名	考古博物館サテライト施設 コロナ対策環境整備事業				
予算区分	一般会計 教育費 社会教育費 博物館費				
総合計画の体系	第3章 第5節 生涯を通じた学ぶ機会の提供				
担当課名	文化財保護課	開始年度	令和3年度	決算書	177頁～178頁

1 事業の概要・取組

概要	考古博物館休憩施設「弥生の里」を博物館サテライト施設と位置付け、積極的な活用を図るため、施設を安心安全に利用出来るようにコロナ対策として空調機器・換気設備の機能強化を行うもの。
令和3年度の主な取組	・実質活用空間拡大に伴う、空調機器の増設（エアコン設置等） ・換気設備の増設

2 令和3年度の事業成果・今後の事業展開

令和3年度の成果	施設の空調機器・換気設備を増設し機能強化を行ったことにより、旧厨房部分の拡大的利用とともに、施設全体の安心安全な利用が可能となった。
今後の展開	子育て支援施設として活用されている「弥生の里」について、一部空間を考古博物館サテライトとして、博物館プロデュースの空間演出を行い、コラボメニューの充実を図るほか、施設相互の利用活性化を目指す。

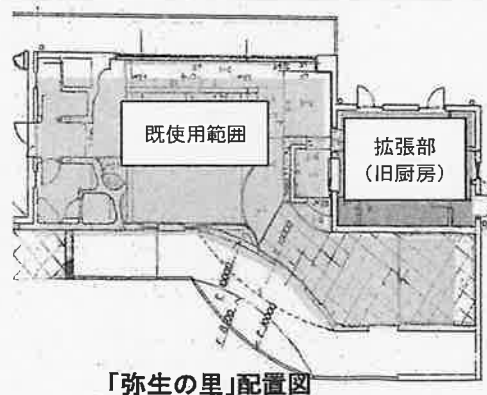
3 施設の概要、計画等

○施設の概要

名称：考古博物館休憩施設「弥生の里」
延床面積：192.87㎡
構造：鉄筋コンクリート造地上1階

○事業計画等

・空調機器・換気設備の増設
→活用空間を拡張（旧厨房部の整備・利用）し、考古博物館のサテライト施設として、主に未就学児・学童を対象とした体験学習の場として活用する



「弥生の里」配置図

4 決算情報

(単位:円)

年度		R2	R3			
			予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額
事業費			2,500,000	1,980,000		520,000
主要な経費	委託料		2,500,000	1,980,000		520,000
財源	国庫・県支出金		2,500,000	1,980,000		
	市債					
	その他特定財源					
	一般財源					

事業名	名陵中学校区新しい学校づくり				
予算区分	一般会計 教育費 教育総務費 事務局費 / 小学校費 学校管理費 / 小学校費 学校建設費 / 中学校費 学校管理費 / 中学校費 学校建設費 / 保健体育費 学校給食共同調理場費				
総合計画の体系	第3章 第3節 学校の教育力の向上				
担当課名	教育政策課／学校支援課 ／学校保健給食課	開始年度	令和3年度	決算書	169頁～174頁 179頁～180頁

1 事業の概要・取組

概 要	下関市立学校適正規模・適正配置基本計画に基づき、下関市立名池小学校・王江小学校・名陵中学校の3校を統合し、名陵学園（隣接型小中一貫教育校）を令和4年4月に開校するために、校舎の改修や備品等の整備を行うもの。
令和3年度の主な取組	新たな学園章、学園旗、校歌額等の備品を整備するとともに、児童増に伴う校舎の改修や普通教室の空調設備等の改修を行った。

2 令和3年度の事業成果・今後の事業展開

令和3年度の成果	新たな学園章、学園旗、校歌額等の備品を整備するとともに、児童増に伴う校舎の改修や普通教室の空調設備等の改修等名陵学園を開校するために必要な準備を行った。
今後の展開	令和4年4月 名陵学園（隣接型小中一貫教育校）開校

3 施設の概要、計画等

(工事内容)

○名陵中学校
校舎改修（普通教室棟2、3階）
・空調機器の新設（2台）
・照明器具（LED）の更新

○名陵小学校
校舎改修（普通教室棟 1、2階 / 管理棟2、3階）
・児童用ロッカー改修及び新設、黒板改修等
・空調機器の新設（1台）及び移設（2台）
・照明器具（LED）の更新
・校章取替

(新校章)



(新学園旗)



4 決算情報 (単位:円)

年 度		R2	R3			
			予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額
事業費			47,814,300	43,937,486		3,876,814
主 要 な 経 費	工事請負費		33,901,300	33,454,300		447,000
	備品購入費		6,404,064	4,754,860		1,649,204
	その他(委託料・消耗品等)		7,508,936	5,728,326		1,780,610
財 源	国庫・県支出金		10,100,000			
	市債		22,700,000	21,800,000		
	その他特定財源					
	一般財源		15,014,300	22,137,486		

事業名	特別支援教育支援員配置事業				
予算区分	一般会計 教育費 教育総務費 事務局費				
総合計画の体系	第3章 第2節 一人ひとりの生き抜く力の育成				
担当課名	学校教育課	開始年度	平成19年度	決算書	169頁～170頁

1 事業の概要・取組

概要	児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じた適切な指導・支援を充実させ、きめ細かな教育を推進するため、障害のある児童生徒の就学支援体制の確立とともに、特別支援教育支援員の配置体制の充実を図る。
令和3年度の主な取組	障害のある児童生徒の発達の段階に応じた指導及び支援を行うため、令和2年度に引き続き令和3年度も小・中学校に特別支援教育支援員を143名配置した。

2 事業の目標指標(活動指標)及び評価

指標説明	特別支援教育支援員一人あたりの特別支援学級在籍児童生徒数				
指標の数値	R1	R2	R3	R4	最終(6年度)
目標値(人)	5.6	4.7	4.7	4.7	4.0
実績値(人)	5.6	4.7	5.0		
達成率(%)	100.0%	100.0%	94.0%		
評価(A～D)	B	B	B		

※評価基準(数値は達成率) A(110%以上)目標を上回る B(90%以上110%未満)ほぼ目標どおり
C(70%以上90%未満)目標を下回る D(70%未満)目標を大幅に下回る

3 令和3年度の事業成果・今後の事業展開

令和3年度の成果	特別支援教育支援員を引き続き143名配置したことで、小・中学校において、重度の障害がある児童生徒の安全確保や多様な障害のある児童生徒の個々のニーズに応じたきめ細やかな支援が行われた。
今後の展開	対象児童生徒の増加により、令和3年度末、支援員一人あたりの児童生徒数は目標値を下回っている状況であるため、最低限現在の支援員数を確保し、すべての児童生徒にとって安全で落ち着いた学習環境を整えていく。

4 参考情報

令和3年度	特別支援学級在籍児童生徒数(A)	支援員数(B)	指標(A/B)
	小学校 493人 中学校 228人 合計 721人	143人	5.0

5 決算情報

(単位:円)

年度		R2	R3			
			予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額
事業費		132,404,405	135,713,000	130,786,869		4,926,131
主要な経費	報酬	132,404,405	135,713,000	130,786,869		4,926,131
財源	国庫・県支出金					
	市債					
	その他特定財源 (基金繰入金)	29,500,000				
	一般財源	102,904,405	135,713,000	130,786,869		

事業名	教育支援教室拡充				
予算区分	一般会計 教育費 教育総務費 事務局費				
総合計画の体系	第3章 第2節 一人ひとりの生き抜く力の育成				
担当課名	学校教育課	開始年度	令和3年度	決算書	169頁～170頁

1 事業の概要・取組

概要	本市では、平成5年度から「教育支援教室」を運営している。不登校児童生徒の増加に伴い、教育支援教室が1つではキャパシティ不足であったため、用途廃止した「勝山老人憩の家」を教育支援教室（あきね）に転用することで、不登校児童生徒の教育機会の確保に努める。
令和3年度の主な取組	教育支援教室を2箇所を増設し、不登校児童生徒の受け入れ体制を拡充した。教育支援教室と学校、フリースクール等の連携を進め、行事での交流や定期的な情報共有の場を設定した。さらに、新規に設置した「あきね」では、不登校児童生徒やその保護者の相談機能の充実に取り組んだ。

2 事業の目標指標(活動指標)及び評価

指標説明	教育支援教室通級児童生徒の学校復帰率(就職・上級学校進学を含む)				
指標の数値	R1	R2	R3	R4	最終(R6年度)
目標値(%)		61.5	63.0	65.0	67.0
実績値(%)		61.7	58.3		
達成率(%)		100.3%	92.5%		
評価(A～D)		B	B		

※評価基準(数値は達成率)

A(110%以上)目標を上回る

B(90%以上110%未満)ほぼ目標どおり

C(70%以上90%未満)目標を下回る

D(70%未満)目標を大幅に下回る

3 令和3年度の事業成果・今後の事業展開

令和3年度の成果	教育支援教室の通級生が、令和2年度56名(のべ人数)から85名に増加するなど、不登校支援が充実している。学校復帰率は下がったが、自宅等にひきこもっていた児童生徒に支援が届いた結果と受け止めている。
今後の展開	教育支援教室と学校、フリースクール等の連携をより密にして、不登校児童生徒の支援を充実していく。不登校児童生徒等への教育支援教室の取組の啓発を進め、不登校児童生徒の社会的自立につなげていく。

4 参考情報

令和2年度「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」(文部科学省)では、小・中・高等学校等における不登校児童生徒数は239,178人と、過去最多である。本市でも、国の傾向と同様、不登校児童生徒数は増加傾向にある。

5 決算情報

(単位:円)

年 度		R2	R3			
			予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額
事 業 費			9,000,000	6,789,586		2,210,414
主 要 な 経 費	人件費		6,411,000	5,405,902		1,005,098
	需用費、委託料他		2,589,000	1,383,684		1,205,316
財 源	国庫・県支出金					
	市債					
	その他特定財源					
	一般財源		9,000,000	6,789,586		

事業名	小・中学校体育館照明LED化事業				
予算区分	一般会計 教育費 小学校費 学校管理費 / 中学校費 学校管理費				
総合計画の体系	第3章 第3節 学校の教育力の向上				
担当課名	学校支援課	開始年度	令和2年度	決算書	171頁～172頁

1 事業の概要・取組

概要	水俣条約に基づき、2021年以降水銀を使用した製品の製造、輸出、輸入が原則禁止となった。水銀製品の製造禁止に伴い、体育館の高天井照明器具の製造も中止となっているため、体育館の高天井照明器具のLED化を推進するもの。
令和3年度の主な取組	体育館照明のLED化に取り組んだ。

2 令和3年度の事業成果・今後の事業展開

令和3年度の成果	小学校7校、中学校5校のLED化工事を行った。
今後の展開	令和6年度までに全ての小・中学校の体育館照明LED化を行う。

3 施設の概要、計画等

■対象施設及び事業内容

小学校33校、中学校19校の体育館高天井照明器具LED化工事

■スケジュール

	(学校数)					
	R2	R3	R4	R5	R6	計
小学校	8	7	7	5	6	33
中学校	6	5	2	3	3	19
計	14	12	9	8	9	52



4 決算情報

(単位:円)

年度		R2	R3			
			予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額
事業費		46,741,200	38,500,000	35,319,900		3,180,100
主要な経費	工事請負費	46,741,200	38,500,000	35,319,900		3,180,100
財源	国庫・県支出金					
	市債	42,000,000	34,600,000	31,600,000		
	その他特定財源					
	一般財源	4,741,200	3,900,000	3,719,900		

事業名	学校トイレ快適化事業					
予算区分	一般会計 教育費 小学校費 学校建設費 / 中学校費 学校建設費					
総合計画の体系	第3章 第3節 学校の教育力の向上					
担当課名	学校支援課	開始年度	令和3年度	決算書	171頁～174頁	

1 事業の概要・取組

概要	学校トイレの老朽化による5K（暗い、汚い、臭い、怖い、壊れている）により、トイレを我慢することによる体調不良などが問題となっていることから、児童・生徒の教育環境改善のためにトイレの大規模改修を行う。
令和3年度の主な取組	小学校2校、中学校2校のトイレの大規模改修工事の実施設計を行った。

2 令和3年度の事業成果・今後の事業展開

令和3年度の成果	小学校2校、中学校2校のトイレの大規模改修工事に着手した。
今後の展開	令和3年度より継続中の小学校2校、中学校2校に加え、令和4年度は小学校1校、中学校1校のトイレの大規模改修を行う。

3 施設の概要、計画等

■「トイレ快適化事業」基本方針

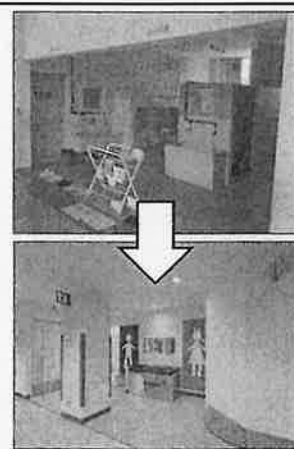
- ・ 長寿命化改良まで10年以上の期間を要するため、先行してトイレ改修を行う。

■各年度の実施内容

- ・ 委託内容：アスベスト調査委託、スラブ構造検討委託
- ・ 工事内容：トイレの洋式化・乾式化、床の段差解消、内装改修（トイレブース・照明器具の更新）

■事業スケジュール

	R3	R4	R5	R6	R7	合計
小学校	2	1	3	2	2	10
中学校	2	1	1	2	2	8



4 決算情報

(単位:円)

年度		R2	R3			
			予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額
事業費			415,000,000	1,402,963	295,000,000	118,597,037
主要な経費	工事請負費		408,367,000		294,639,000	113,728,000
	委託料		4,290,000	1,195,700		3,094,300
	事務費		2,343,000	207,263	361,000	1,774,737
財源	国庫・県支出金		79,625,000		36,136,000	
	市債		222,200,000		171,100,000	
	その他特定財源					
	一般財源		113,175,000	1,402,963	87,764,000	

事業名	学校施設長寿命化事業（予防保全）				
予算区分	一般会計 教育費 小学校費 学校建設費 / 中学校費 学校建設費				
総合計画の体系	第3章 第3節 学校の教育力の向上				
担当課名	学校支援課	開始年度	令和3年度	決算書	171頁～174頁

1 事業の概要・取組

概要	小・中学校の約9割が建築後30年を経過し老朽化が進む中、学校施設をより長期間使用することを目的に、予防保全を計画的に行うための設備補修や工事等を実施し、児童生徒の安全・安心を確保するもの。
令和3年度の主な取組	屋上防水・外壁改修、機械設備・電気設備の補修を行った。

2 令和3年度の事業成果・今後の事業展開

令和3年度の成果	屋上防水工事（向山小）、機械設備（長府小、向山小、垢田中）、電気設備（長府小、江浦小、彦島中、吉見中、日新中、名陵中）の補修を行った。
今後の展開	引き続き計画的に設備補修や工事等を実施し、学校施設長寿命化に向けて予防保全に努める。

3 施設の概要、計画等

■ 事業内容

○学校施設の現状

令和4年度学校数：64校

建築後30年を経過し、改修を要する老朽建物が約9割



○今後

長寿命化に向けて予防保全を計画的に行う

- ・機械設備、電気設備補修
- ・屋根、屋上、外壁改修工事

【老朽施設の現況】



屋上防水



ポンプ



外壁

4 決算情報

(単位:円)

年度		R2	R3			
			予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額
事業費			92,425,600	43,567,600	40,511,900	8,346,100
主要な経費	工事請負費		64,125,600	23,613,700	40,511,900	
	委託料		26,000,000	17,653,900		8,346,100
	事務費		2,300,000	2,300,000		
財源	国庫・県支出金					
	市債		79,400,000	38,600,000	36,300,000	
	その他特定財源					
	一般財源		13,025,600	4,967,600	4,211,900	

事業名	小・中学校メンテナンス推進事業（長寿命化）				
予算区分	一般会計 教育費 中学校費 学校建設費				
総合計画の体系	第3章 第3節 学校の教育力の向上				
担当課名	学校支援課	開始年度	令和2年度	決算書	173頁～174頁

1 事業の概要・取組

概要	小・中学校の老朽化した校舎等の施設の長寿命化を実施し、小・中学校の機能や性能を引き上げるための環境整備を行うことにより、安全・安心を確保するもの。
令和3年度の主な取組	勝山中学校において特別普通教室棟の実施設計及び特別教室棟の基本設計を行った。

2 令和3年度の事業成果・今後の事業展開

令和3年度の成果	勝山中学校において特別普通教室棟の実施設計に向けた準備を行った。また、特別教室棟の基本設計を完了し実施設計に向けた準備を行った。
今後の展開	勝山中学校において仮設校舎（リース）を建設し、特別普通教室棟の大規模改修を行う。

3 施設の概要、計画等

■対象施設

建築後40年以上経過し、今後30年以上使用するもの。
構造体の劣化状況等の調査を行い、長寿命化改修ができるもの。

■工事内容

構造体の劣化改修、水道、電気、ガス管などのライフラインの更新など

■事業スケジュールと全体事業費（R2～ 勝山中学校 特別普通教室棟ほか）

(単位：千円)

項目	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	合計
長寿命化調査・設計	7,579	5,606	41,389	20,497	994	994	0	77,059
長寿命化工事				316,000	613,534	624,378	0	1,553,912
仮設校舎リース			10,800	64,800	64,800	64,800	5,400	210,600
合計	7,579	5,606	52,189	401,297	679,328	690,172	5,400	1,841,571

4 決算情報

(単位：円)

年度		R2	R3			
			予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額
事業費		7,579,000	30,000,000	5,605,600	15,389,000	9,005,400
主要な経費	委託料	7,579,000	30,000,000	5,605,600	15,389,000	9,005,400
財源	国庫・県支出金					
	市債		18,000,000		13,800,000	
	その他特定財源 (基金繰入金)	7,000,000				
	一般財源	579,000	12,000,000	5,605,600	1,589,000	

事業名	菊川中学校体育館建替事業				
予算区分	一般会計 教育費 中学校費 学校建設費				
総合計画の体系	第3章 第3節 学校の教育力の向上				
担当課名	学校支援課	開始年度	令和2年度	決算書	173頁～174頁

1 事業の概要・取組

概要	耐震二次診断・補強計画策定業務にて、高力ボルトの取替工事が必要となることが判明したため、新築建替と耐震補強工事のトータルコストを勘案すると新築建替のトータルコストが安価となることから、体育館の建替工事を実施するもの。
令和3年度の主な取組	耐震性が確保されていない菊川中学校体育館の建替工事を行った。

2 令和3年度の事業成果・今後の事業展開

令和3年度の成果	新体育館の新築工事に着手した。
今後の展開	令和4年度も引き続き新築工事を行い、完成後に既存体育館の解体を行う。

3 施設の概要、計画等

■施設の現況

建替前：鉄骨造2階建 1,393.99㎡ S51竣工
 建替後：鉄骨造平屋建 830.74㎡

■事業スケジュールと全体事業費

(単位：千円)

項目	R2	R3	R4	合計
地質調査・構造計算委託	8,236			8,236
建替工事		31,000	233,000	264,000
解体工事			56,000	56,000
事務費		200	2,300	2,500
合計	8,236	31,200	291,300	330,736

【建替前】



4 決算情報

(単位：円)

年度		R2	R3			
			予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額
事業費		8,235,700	31,200,000	31,200,000		
主要な経費	工事請負費		31,000,000	31,000,000		
	委託料	8,235,700				
	事務費		200,000	200,000		
財源	国庫・県支出金		6,440,000	9,520,000		
	市債		18,700,000	18,700,000		
	その他特定財源 (基金繰入金)	8,000,000				
	一般財源	235,700	6,060,000	2,980,000		

事業名	太翔館リニューアル開館10周年記念事業				
予算区分	一般会計 教育費 社会教育費 博物館費				
総合計画の体系	第1章 第1節 文化・スポーツの振興				
担当課名	文化財保護課	開始年度	令和3年度	決算書	177頁～178頁

1 事業の概要・取組

概要	豊北歴史民俗資料館は令和3年にリニューアル開館10周年となる。そこで郷土の歴史文化資源を伝承し活用するとともに、次世代の豊北、下関市を担う人材育成、地域への人の流れを創ることを目的に「人と郷土」をテーマにした企画展等を関係団体と協働して開催する。
令和3年度の主な取組	・特別展示の開催：「第1弾 記念碑に刻まれた人々」、「第2弾：中山太一が残したもの」、「第3弾：田上菊舎展」 ・各展示の関連イベントの開催：「滝部歴史探訪TAKIBEウォーク」等 ・特別展示図録集3種類の出版

2 事業の目標指標(活動指標)及び評価

指標説明	入館者数				
指標の数値	R1	R2	R3	R4	最終(3年度)
目標値(人)			10,000		10,000
実績値(人)			3,317		
達成率(%)			33.2%		
評価(A～D)			D		

※評価基準(数値は達成率)

A(110%以上)目標を上回る

B(90%以上110%未満)ほぼ目標どおり

C(70%以上90%未満)目標を下回る

D(70%未満)目標を大幅に下回る

3 令和3年度の事業成果・今後の事業展開

令和3年度の成果	コロナ感染防止による会期中の休館や来館の自粛要請により、入館者数は目標値の1/3程度ではあるが、関連団体と協力して実施したイベントには計100名以上の市民が参加し、地域の歴史文化の重要性を周知できた。
今後の展開	10周年事業は令和3年度で終了するが、引き続き資料館を市民や一般の方が、より活用しやすい環境を整備するとともに、歴史や民俗を通じて地域の誇りを情報発信する。

4 参考情報

--

5 決算情報

(単位:円)

年 度		R2	R3			
			予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額
事 業 費			1,500,000	1,154,315		345,685
主 要 な 経 費	委託費		712,000	605,000		107,000
	印刷製本費		254,000	220,880		33,120
	報償費その他		534,000	328,435		205,565
財 源	国庫・県支出金					
	市債					
	その他特定財源 (諸収入)		200,000	31,700		
	一般財源		1,300,000	1,122,615		

事業名	豊田生涯学習センター耐震補強・外壁改修工事				
予算区分	一般会計 教育費 社会教育費 生涯学習施設費				
総合計画の体系	第3章 第5節 生涯を通じた学ぶ機会の提供				
担当課名	生涯学習課	開始年度	令和2年度	決算書	177頁～178頁

1 事業の概要・取組

概要	耐震診断により豊田生涯学習センターが必要な耐震性能を有していないという結果が出たため、耐震補強工事の実施と併せて、老朽化により多数発生している剥落箇所や亀裂箇所等の外壁改修工事を実施するもの。
令和3年度の主な取組	耐震補強及び外壁改修工事を実施した。

2 令和3年度の事業成果・今後の事業展開

令和3年度の成果	令和3年11月22日に施設の耐震補強及び外壁改修工事が完成した。
今後の展開	適切な施設管理及び運営を行いながら更なる利用率の向上に努める。

3 施設の概要、計画等

○施設の概要

名称：豊田生涯学習センター
 建設年：昭和54年
 規模：延床面積 2,510.65㎡
 構造：鉄筋コンクリート造 地上3階建

着工前



○事業計画

令和2年度：耐震補強及び外壁改修工事入札・契約
 令和3年度：耐震補強及び外壁改修工事着工・完成

完成後



4 決算情報

(単位:円)

年度		R2	R3			
			予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額
事業費			141,000,000	138,420,160		2,579,840
主要な経費	工事請負費		137,246,000	134,666,400		2,579,600
	事務費		3,754,000	3,753,760		240
財源	国庫・県支出金		10,000,000	9,895,000		
	市債		131,000,000	128,300,000		
	その他特定財源					
	一般財源			225,160		